

創る、巡る、贈る



福島県大熊町

2026

広報おおくま

3

No.644



— 今月の表紙 —

認定こども園学び舎ゆめの森

豆まき会

（掲載記事 7 ページ）

特集 / 東日本大震災・福島第一原発事故から 15 年
大熊町の「あの日」と「現在」

まちの話題 6 ページ | お知らせ 10 ページ | すこやかライフ 22 ページ

2026年3月11日、東日本大震災から15年を迎えます。多くの町民が「念のため、数日だけ」のつもりで町を離れたあの日から、一つ一つ日常を取り戻すため町は、「町土の復興」と「町民の生活再建」を目指してきました。

この15年を町の出来事を中心に振り返ります。皆さんの心に浮かぶ「あの日」はいつでしょうか。

2011年10月17日

会津若松市に設置された松長近隣公園仮設住宅の一角に「おみせ屋さん」が開店しました。町の事業者が協同組合をつくり運営。初日には多くの町民がレジに並びました。

仮設住宅と市街地を結ぶ交通環境改善や入居者の減少などに伴い、2017年3月に閉店するまで、「おみせ屋さん」は町民の買い物や交流を支えました。



— 買い物 —

大川原地区の避難指示解除から間もない2019年6月、プレハブ店舗のコンビニエンスストアがオープン。2021年4月、同地区にコンビニや飲食など9店舗が集まる「おおくまーと」が開業。2025年3月にはJR大野駅西口エリアに「クマSUNテラス」が営業開始し、買い物の選択肢が広がりました。2026年秋にはスーパーマーケットも開業予定です。

2012年8月25日

いわき市の好間工業団地第一仮設住宅で、夏祭りが開催されました。

町民向けのプレハブ型応急仮設住宅は2011年6月、会津若松市で入居が始まり、翌年12月末までに同市内に12カ所、いわき市内に7カ所が設置されました。避難の長期化に伴い、避難先での生活再建は進み、2020年8月までに全ての町民がプレハブ型の仮設住宅から退去しました。



— 住まい —

町は、大川原地区に災害公営住宅計92戸、再生賃貸住宅計48戸、大野南エリアに同30戸、原エリアに同20戸を整備。いずれもほぼ満室の状況が続いています。2025年からは宅地分譲も進めています。

町は民間賃貸住宅のリフォームや新築に対する補助制度を整え、帰還や移住しやすい住環境整備に力を入れています。

東日本大震災・ 福島第一原発事故から15年 大熊町の「あの日」と「現在」

2011年3月11日 午後2時46分

東日本大震災で町は震度6強の揺れに見舞われ、沿岸部の約2km²が津波で浸水。地震と津波で町民12人が犠牲になりました。震災当時の人口は11,505人。

翌12日早朝から、震災に伴う原発事故で全町避難を開始。避難指示は同日中に町の全域におよびました。避難の長期化を見越し、町は4月、会津若松市に行政拠点を移しました。



— 町の概要 —

全町避難は約8年におよび、2019年4月、町の一部で避難指示が解除されました。その後も避難指示解除は続きましたが、2026年3月現在も町の約半分が帰還困難区域のままです。2026年1月末現在、人口9,780人、うち町内居住者は1,086人。住民票を町に移していない人を含めると推定1,533人が町内で暮らしています。

2011年7月24日

震災による犠牲者の慰霊祭が、津波被害が甚大だった熊川地区で開かれました。町は全域が警戒区域に指定されており、参列者は防護服に身を包み、犠牲者の冥福を祈りました。

町内の津波被害者の捜索は震災翌日の3月12日早朝から予定されていましたが、避難で実施できず、その後、警察の捜索が始まったのは5月に入ってからでした。



— 被害 —

2026年1月1日現在、東日本大震災による死者は144人(直接死12人、震災関連死132人)、家屋被害は計3,371棟(全壊322棟、大規模半壊755棟、半壊2,257棟、一部損壊37棟)。関連死や家屋被害調査は続いており、震災に対する町の被害は確定していません。毎年3月11日には、町民有志による追悼の集いが開かれています。

2015年3月13日

中間貯蔵施設建設地となった大熊東工業団地敷地内に除染廃棄物が初めて搬入されました。この日を起点とし、30年間にわたり、県内の除染で出た土壌等が中間貯蔵施設内に保管されます。

原発事故後、県内43市町村が除染を実施。その廃棄物の保管場所が中間貯蔵施設です。国による住民説明会などを経て、町は2014年12月、施設の受け入れを表明。町沿岸部の約11km²が施設に含まれました。



— 中間貯蔵施設 —

帰還困難区域を除く県内の除染廃棄物の搬入は2021年3月までにほぼ完了。国は2025年8月、除去土壌等の最終処分に向け、「2035年をめどに最終処分地を選定する」などと記載したロードマップを策定しました。町は期限内の最終処分の確実な履行や、その後の跡地利用の検討などを国に求めています。

2021年3月12日

会津若松市の町立大熊中学校仮設校舎で卒業式が行われました。地域の皆さんに見守られる中、卒業生3人が学び舎を巣立っていきました。

町立小・中学校と幼稚園は、震災直後の2011年4月、会津若松市内で教育を再開。会津大学短期大学部敷地内に新築されたプレハブの中学校仮設校舎は、2013年4月から8年にわたり、生徒の学びを支え、その役割を終えました。



— 教育 —

2022年4月、会津若松市で小中学校を統合した義務教育学校が開校。2023年4月には、義務教育学校に認定こども園も加えた「町立学び舎ゆめの森」が町内で教育活動を再開しました。同年6月に、大川原地区に新校舎も完成しました。

2026年2月現在、園児38人、児童生徒62人の計100人が在籍しています。

で「必ず帰還する」という方針を掲げながら、「本当に戻れるのか」と交錯した気持ちになったことは一度や二度ではありません。今、町内で約1,500人が生活する現状に「よくここまで来た」と感じています。

一方で、震災を経験した町民の多くは町外で生活しています。震災前を振り返る時、懐かしく思うのは、やはり人。かつての隣近所の人たちとは、たまに電話で話すことはあっても、行き会うことはほとんどありません。親戚もバラバラです。町の再建を進めながら、人のつながりをもう一度つくるのは難しいと実感しています。

震災前の町に戻すことはできません。しかし、大

熊の良さを取り戻すことは大切だと思います。自然を感じながら、人とつながり、安心して暮らせたふるさと。将来の住民にもそんな大熊を残すため、過去を大切に、未来を見据え、復興に取り組んでまいります。



大野駅西交流エリアのオープンを祝い風船を飛ばす子どもたち

あ
の
日

2013年2月22日

大川原地区で先行除染が始まりました。除染に先立ち、2012年12月、町の警戒区域は帰還困難区域(面積の62%)、居住制限区域(同15%)、避難指示解除準備区域(同23%)に再編され、帰還困難区域を除く地域では日中の立ち入りが自由になりました。

除染や特例宿泊、準備宿泊を経て、中屋敷、大川原地区では2019年4月10日、避難指示が解除されました。



— 避難指示区域 —

2019年の避難指示解除に続き、2020年3月にJR大野駅周辺等で、2022年6月に帰還困難区域の一部(特定復興再生拠点区域)で避難指示が解除されました。

現在は、2020年代に希望する住民の帰還を果たすという国の方針の下、特定帰還居住区域が設定され、区域内の除染やインフラ整備が進められています。

現
在

2014年5月19日

大川原地区(居住制限区域)と下野上地区(帰還困難区域)に整備された実証田で、除染や放射線の影響を調べるためコメの試験作付けが始まりました。実証田ではその秋、町内で震災後初めての稲刈りも行われました。

大川原地区では営農再開に向け、2018年5月からコメの実証栽培開始。また、2020年からは帰還困難区域の下野上地区でも試験栽培が始まりました。



— 農業 —

中屋敷地区と大川原地区では2022年4月に、下野上地区を含む特定復興再生拠点は2025年4月に営農が再開されました。水稻以外の畑作や果樹栽培も含め、町内では作付けされた農地が広がりつつあります。

2019年4月には、営農再開に先駆け、いちご栽培施設が稼働しています。

ふるさと大熊を未来へ

大熊町長 吉田 淳

東日本大震災から15年。この間、犠牲になられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔み申し上げます。また、日常生活の基盤を失うという想像を超えた被害から、一つひとつ生活を建て直してこられた町民の皆さまに心より敬意を表します。

この15年で心に残る「あの日」を問われれば、やはり2011年3月12日が浮かびます。当時、私は

町の生涯学習課長でした。前日の地震から、避難所設営や非常用発電機などの物資調達に走り、夜が明けた午前6時ごろ、役場で避難指示を知りました。

同僚と2人、町内の集会所を回り、残った人がいないか確認しながらも、何が起きているのかピンと来ていなかったように思います。地震被災はありましたが、私は津波の被害を見ておらず、目の前にはいつもの町があるのです。火の手や洪水が迫っているわけでもない。切迫感を持たないまま町を離れ、避難先のテレビで原子炉の状況を確認し、徐々に事態の深刻さを理解していきました。

それから、あっという間の15年でした。町とし



学生らが事業を提案

エクストリーム大熊

大熊インキュベーションセンターで実施している、イノベーター育成事業「エクストリーム大熊」の最終プレゼンテーションが1月17日、同センターで行われました。

10代~20代の起業家を目指す60人の応募者の中から約半年間のプログラムを経て、選考された10人のファイナリストらが審査員に事業の提案をしました。



事業の発表をする学生

年始の防火啓発 14年ぶりに 町消防団出初式



放水を行う消防団員ら

大熊町消防団の出初式が1月17日、学び舎ゆめの森グラウンドで行われました。出初式が町内で行われるのは東日本大震災と福島第一原発事故以来、初めてのことです。

出初式は、冬季間の防火意識の向上を目的として毎年1月に行われます。

震災後初の開催にあたり、吉田淳町長は「安心して住める町を目指してほしい」と新年のあいさつを述べ、消防団員を激励しました。

また、消防車による放水訓練が行われ、団員らは操作方法や手順の確認をおこないました。

最終年度の成果報告 復興知報告会

大学等が持つ「知」を浜通り地域の復興に役立てる、福島イノベ機構の取り組み「復興知」の大熊分科会の報告会が1月19日、町交流施設 link 大熊で開かれました。

復興知事業は令和3年から本年度までの5か年事業として、全国の大学生が地域の復興のため多種多様な活動を展開。

最終年度の総まとめとして分科会の報告会が行われ、全5校が各々の活動の記録や事業の展開を吉田淳町長に報告しました。



大学の報告を受ける吉田町長(中央)

町の産品をふんだんに

ふたば未来学園高生が商品開発報告



県内の学校や学生が行う、県産品の新商品開発や販売活動を応援するために創設された「Fukurum 基金」の事業報告が1月26日、町役場で行われました。

本事業は Fukurum カード(クレジットカード)の利用額の一部が、県の復興や風評払拭に向け、県内の学校や学生らが取り組む県産品の商品開発や販売活動に役立てられるものです。今回商品開発の報告を行ったのはふたば未来学園高の伊藤絵美さん。ネクサスファームおおくまのイチゴと大熊未来のストロベリーシープの燻製肉を使ったバケットを開発しました。

報告会では、伊藤さんが商品開発までの過程や商品への思いを紹介しました。



商品開発を記念し集合写真に納まる関係者ら

水素の新たなカタチを町内で生産 OKUMA TECH 立地協定式



李代表(左)と協定書を交わす吉田町長

町は1月26日、水素関連事業者「OKUMA TECH」と大熊中央産業拠点の立地協定を結び、李顕一代表と吉田淳町長が協定書を交わしました。

同社は2021年に「OKUMA DRONE」として起業し、大熊インキュベーションセンター、CREVA おおくまへの入居を経て、大熊中央産業拠点へ進出しました。

大熊中央産業拠点では同社が特許を取得している技術を用い、「粉体水素」の生産と同技術を用いた発電を行います。

李代表は「粉体水素という新しい技術を、大熊町から世界に広げるといったゴールを目指します」と今後の展望を述べました。

心の鬼を退治する 学び舎ゆめの森 豆まき

学び舎ゆめの森のこども園で2月3日、節分の恒例行事「豆まき会」が行われました。園児たちは事前に新聞紙を使って鬼のお面を制作し、色とりどりのお面を身に付けて披露しました。「泣き虫鬼」や「怒りんぼ鬼」など、自分の中から追い払いたい鬼を発表し、年男と年女に鬼を追い払ってもらいました。

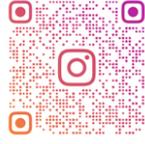
園内に鬼が登場すると、園児たちは「鬼は外、福は内！」と大きな声をあげながら豆を投げ、力を合わせて鬼を退治しました。



年男と年女に鬼を追い払ってもらう園児ら



OKUMA_IJUTEIJU
移住に関する
情報



OKUMA_MACHIZUKURI_KOSHA
まちづくり公社
に関する情報

のぞいてみよう! 復興支援員ライフ



vol.6

コミュニティ再構築や住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は菊池唯さん、広川誠さんをご紹介します。



菊池 唯

【受け入れ企業】

in the Rye 株式会社

【担当】

関係・交流人口拡大のための取り組み

の方に通訳や町内案内といったサポートを行っています。大熊町のグローバル化を後押ししながら、日本だけでなく、海外の方にも大熊を知ってもらえるように日々活動しています。

Instagram



【活動内容】

私は現在、主に大熊町の多文化・国際化の推進や、海外の方に大熊町の魅力をアピールすることを目的とした活動をしています。学び舎ゆめの森で、外国の方と交流をするミーツ・ザ・ワールドの運営に携わるほか、さまざまな理由で大熊を訪れた海外



町内を案内する菊池さん



広川 誠

【受け入れ企業】

ビジネスゲートウェイ株式会社

【担当】

OIC を拠点とした新規産業の支援と情報発信

【活動内容】

大熊インキュベーションセンター(OIC)には、現在 150 以上の企業・団体・個人がシェアオフィスやレンタルオフィスの会員として在籍しています。私は利用者が円滑に活動やコミュニケーションができる環境を整え、困りごとがあれば解決に向けたサポートを行っています。3月14日(土)に開催される「おおくま学園祭」は年間で最も大きなイベントで、企業による技術展示や全国から集まった飲食ブース、アーティストによるパフォーマンスで大熊町の今と未来を表現します。ぜひお越しください！

Instagram



OIC HP



OIC の情報を日々発信する広川さん

OKUMA ODYSSEY



Instagram



HP

「おおくま学園祭」が今年も開催されます！

音楽アーティストによるステージに加え、全国から食やアートが集結！ OIC 入居企業も多数出店予定です。

さらに今年は、「ゼロカーボンフェスティバル in おおくま」を合併吸収。町のゼロカーボンビジョンにつながる各種取り組みの紹介や革新的なEV等の技術展示などの特設エリアが設けられます。大人から子どもまでお楽しみいただけるコンテンツが盛りだくさんです！

イベントの詳細は同封のチラシや QR コードからご覧ください。

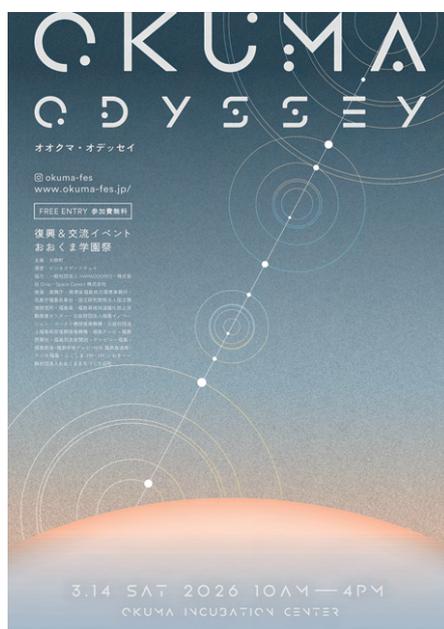
時 3月14日(土)午前10時～午後4時

場 大熊インキュベーションセンター(大熊町下野上字清水 230)
大野駅西口交流エリア(大熊町下野上大野 116-5)

費 入場無料、町外発着のシャトルバスは町民(住民票が大熊町にある方)は無料

内 ・ステージ：アーティスト出演(Amber's、Rin 音ほか)

- ・飲食コーナー約 35 店舗
- ・その他出展コーナー約 30 社
- ・ゼロカーボンエリア約 40 社
- ・その他：町内見学ツアー、起業家発表、スタンプラリー 等



大熊町からの お知らせ



会場 持
日時 申し
費用 込み
対象 期
内容 問
対 問
場 限
持 問
ち 問
物 問
定 問
員 問
申 問
し 問
込 問
み 問
方 問
法 問
期 問
限 問
電 問
話 問
番 問
号 問
FAX 問
フ 問
ァ 問
ク 問
ス 問
メ 問
ール 問
アド 問
レス 問
WEB 問
ウ 問
ェ 問
ブ 問
サイ 問
ト 問

募集・イベント



令和8年度実施（令和9年4月1日付け採用）

大熊町職員採用候補者試験



■試験職種

- ・大卒土木
- ・保育教諭（資格免許職）
- ・保健師（資格免許職）

■採用予定数

いずれも若干名

■年齢要件・学歴

●大卒土木
平成9年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた方で学歴は不問です。

●保育教諭（資格免許職）

平成9年4月2日以降に生まれ

た方で、保育士資格および幼稚園教諭免許を有する方または、令和9年3月末までに取得見込みの方

●保健師（資格免許職）

昭和52年4月2日以降に生まれた方で、保健師免許を有する方または、令和9年3月末までに取得見込みの方

■試験内容

●1次試験／SPI3（基礎能力検査、性格検査）

●2次試験／小論文・口述試験

■受付期間

3月16日（月）から4月17日（金）の間の平日（午前8時30分～午後5時15分）

郵便の場合は、4月15日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

●**申** 申込用紙に必要事項を記入して、大熊町役場総務課に提出してください。

さい。

郵送の場合は、その表に赤で「職員試験申込」と書いて、必ず簡易書留で送付してください。

申込用紙は、役場本庁舎2階総務課または各出張所で交付を受けらるか、町ホームページからダウンロードしてください。

試験についての詳細な内容は、町ホームページをご覧ください。

■1次試験

時 SPIの受験案内メール受信後から5月1日（金）まで

場 各テストセンター（リアル会場、オンライン会場）

■募集予定

●一般事務（大学卒程度）
募集期間：5月上旬～6月上旬
試験日：7月中旬（予定）

●一般事務（高校卒程度）
募集期間：7月中旬～8月中旬
試験日：9月中旬（予定）

●土木職（高校卒程度）
募集期間：7月中旬～8月中旬
試験日：9月中旬（予定）

試験日：9月中旬（予定）

会計年度任用職員 の障がい者雇用枠 を設けています



詳しい募集内容は、ハローワークの障がい者専用求人情報をご確認ください。

問 総務課 行政係

☎ 0244(23)7569

追悼復興祈念イベント が開催されます



東日本大震災から15年の節目となる日に、ふくしま復興への思いや夢を書き込んだキャンドルに火を灯します。皆さまどうぞお越しください。

時 3月11日（水）

午後2時～7時30分（予定）

場 東日本大震災・原子力災害伝承館 アーカイブ広場

費 無料

申 不要

問 福島県相双地方振興局 復興支援・地域連携室

☎ 0244(26)1116

令和8年度サークル補助金・生涯学習事業費補助金説明会を開催します



サークル補助金・生涯学習事業費補助金申請の募集開始に先立ち説明会を開催します。申し込みを考えている団体は必ずご参加ください。

時3月27日(金)

午後1時15分～4時

場大熊町役場 第2会議室

対令和8年度生涯学習事業費補助金の申し込みを考えている団体
申必要。前日までに生涯学習課に申し込みください。

問生涯学習課 社会教育係

☎0240(23)7194

ニューもみの木大学(高齢者大学)の参加者を募集します



時4月から令和9年2月まで毎月

実施(午前9時30分～正午)

場大熊町役場、学び舎ゆめの森、町保健センターなど

対大熊町に住民票がある65歳以上の方で、年間を通して参加できる

定20人程度 **申**電話で

問生涯学習課 社会教育係

☎0240(23)7194

コミュニティサロン「オリジナルコースターをつくらう」を開催します



学び舎ゆめの森でコミュニティサロンを開催します。

今回はペットボトルキャップを使って、カラフルなコースターを作るワークショップを行います。

また本の貸し出し、カフェ、カードゲームなどもありますのでお気軽にお立ち寄りください。

時3月17日(火)午前9時～正午

場学び舎ゆめの森

対どなたでも **費**無料 **申**不要

問生涯学習課 社会教育係

☎0240(23)7194

**令和7年に生まれ
たお子さんにぬいぐるみプレゼント**



このたび、

クマのぬいぐるみを5体いただきました。2025年の刺しゅうが入った素敵なぬいぐるみです。昨年生まれたお子さんにご誕生記念としてプレゼントしますので、ぜひご応募ください。



なお、応募者多数の場合は抽選とし、当選者発表は発送をもって代えさせていただきます。

対令和7年1月1日～12月31日生まれで、大熊町に住民登録があるお子さん

期3月2日(月)～3月31日(火)

申電話で。お子さんの氏名・生年月日、応募者の氏名・電話番号・送付先の住所を伺います。

問健康保険課 保健衛生係
☎0240(23)7419

**春のおおくままち
なかウォーキング**



今年もCREVAおおくまにこのぼりを掲揚します！たくさんみを見ながら、春の大熊町を歩いてみませんか？

内まちなかウォーキング、豚汁・玉こんにゃくのふるまい、ミニゲーム

時4月11日(土)CREVAおおくま集合、午前9時30分受け付け開始、10時開会式

費300円 **定**300人 **申**必要
問おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局

☎090(2952)5939
(土日祝日を除く、午前9時～午後5時)

●鯉のぼりを探しています！

ご自宅に使っていない鯉のぼりはありませんか？イベントで掲揚するため、ご協力いただける方は問い合わせ先までご連絡ください。一緒にウォーキングを盛り上げましょう！

福島広域雇用促進支援協議会から

●就活ワークショップ事業『求職者カフェ』

【利用無料・予約不要】



内応募書類作成や面接対策、証明写真の撮影、ビジネスマナー等、さまざまな就職支援をご用意しています。ご希望の支援を受けられます。若者からシニアまでお気軽にお越しください。

時午前10時～午後6時(月～金)
※祝日を除く

場南相馬市原町区大木戸金場77

(南相馬ジャスマール内)

☎0244(26)4307

●働きたいネットの就職応援マルシェ【出張求職者カフェ】



【参加無料・予約不要】
内ハローワーク富岡に求職者カフェがやってきました！就職活動に役立つ支援が無料で受けられます。ぜひお越しください。

時3月18日(水)午前9時～正午

場ハローワーク富岡 2階会議室

■支援メニュー

◎証明写真撮影(撮影希望の方はスーツ等の着用がおすすめ！貸出用ジャケット有)◎応募書類作成◎面接対策◎適職診断 等
問福島広域雇用促進支援協議会
福島統括窓口

☎024(524)2121

大熊町いわき会 総会のお知らせ



時4月9日(木)午前10時(予定)

場いわき市泉公民館(いわき市泉町4丁目13-11)

費300円(弁当代)

問宮本明

☎090(5188)8163

おおがわら会 総会のお知らせ



内総会&鎌田清衛さん講話・ふるさと塾布芝居

時3月20日(金・祝)午前10時～午後1時(受け付け9時30分)

場linkる大熊

費高校生以上500円

小中学生 300円
未就学児童 無料

定40人 申必要

問山本千代子

☎090(7072)6611

※平日の午前9時～午後5時

大熊町山田会 総会のお知らせ



時3月29日(日)午前10時

場渡辺宅 申必要

問石田和枝

☎090(7326)7444

ふるさとおおくま会 総会のお知らせ



時3月28日(土)午前10時30分～正午(10時受け付け)

場草野公民館(いわき市平泉崎字向原28番地-1)

費200円(昼食代)

定30人 申必要

期3月20日(金・祝)

問石橋英雄

☎090(2270)8138

問富田睦子

☎090(3531)9776
問杉内俊子

☎090(3649)6051

おおくまいわき友の 会総会のお知らせ



時3月26日(木)午前10時30分(受け付け午前10時)

場鹿島公民館(いわき市鹿島町走熊鬼越83-1)

費300円(昼食代として)

定30人 期3月15日(日) 申必要

問奥山和枝

☎090(5234)2467

問伊東光子

☎090(3645)2765

おおくま町中通り会



内町内でいちご摘み取り体験&見学ツアー(昼食付き)

時3月18日(水)中通り連絡事務所を午前8時30分出発

場ネクサスファームおおくま、CREVAおおくま、FUN EAT MAKERS in Okuma、他

費2000円

定30期 3月10日(火) 申必要

問 齋藤重征

☎ 090(8423)6515

問 鈴木久友

☎ 090(3368)8919

おおくま気楽会 総会のお知らせ



内 令和7年度総会

時 3月15日(日)

場 下矢田団地集会所(いわき市鹿

島町下矢田榎木内51-1)

費 1000円 申必要

期 3月2日(月)

問 会長(菅野)

☎ 080(5222)6014

問 副会長(吉田)

☎ 080(6026)2870

大野南コミュニティ 会総会のお知らせ



内 来年度の活動予定を決める総会

時 3月28日(土)午前10時~11時

場 大野南コミュニティスペース

申必要(現会員以外の新規入会希

望者も参加可能です)

問 阿部翔太郎

☎ 090(7819)6933

補助・助成



物価高対応子育て 応援手当を支給します



物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童手当を受給している保護者の皆さんに、児童1人当たり2万円の子育て応援手当を支給します。併せて町独自の取り組みとして1万円を上乗せして支給します。

■対象

① 令和7年9月30日時点の児童手当の受給者

② 令和7年10月1日~令和8年3月31日に生まれた児童に係る児童手当の受給者

■支給額

児童1人につき3万円

■申請方法

① の対象者

町からお知らせを送付しました。受給を希望しない方と支給口座を

変更する方は、コールセンターまでご連絡ください。(それ以外の方は連絡不要)

② の対象者

町からご案内を送付しますので、同封の申請書を提出してください。

※10月1日以降に離婚して児童手当の申請が必要になった保護者も申請書の提出が必要です。

公務員の方は勤務先から申請書受け取り、手続き方法をコールセンターまでお問い合わせください。

問 大熊町臨時給付金コールセンタ

ー

☎ 0120(012)909

(平日午前9時~午後5時)

お知らせ



おこめ券を配布します



町は、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、町民の皆さん一人あたり5280円(440円×12枚)の「全国共通おこめ券」を配布します。

時 3月上旬から順次配布予定(手続きや申請等は必要ありません)

※全世帯に配布のため、到着にはらつきが出ます。

対 令和8年1月1日時点で町に住

民登録がある全世帯

■使用期限

9月30日(水)

■使用方法

米穀店、スーパー、ドラッグストアなど、おこめ券の取扱店舗で、お米をはじめとした食品等の購入代金として使用可能です。

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

医療費一部負担金免除 除証明書について



東日本大震災で被災された方の医療費一部負担金免除措置の期間が延長されました。対象の方に新しい免除証明書をお送りしましたのでご確認ください。

■有効期間

3月1日(日)~7月31日(金)

問 健康保険課 国保年金係

☎ 0240(23)7143

**介護サービス利用
料免除の認定票を
郵送します**



現在、要介護・要支援・事業対象者の認定をお持ちの方で、3月以降も介護サービス利用料免除対象の方へ、原子力発電所事故避難者介護保険利用者負担軽減支援事業対象者認定票（ピンク色）を郵送します。

認定票は、介護サービス利用時に事業者やケアマネジャー等への提示が必要となりますので、必ず介護保険被保険者証等と一緒に保管してください。

3月になっても手元に届かない方は、問い合わせください。

問 福祉課 介護保険係
0240(23)7226

**「介護給付費のお知らせ」
を送付しました**



「介護給付費のお知らせ」は介護サービス等を利用された方に、介護保険制度の理解を深めていただき、利用された介護サービスの内

- ・東京電力から「就労不能損害」、「営業(営業・農業・不動産)」の賠償を受けた方
 - ・給与所得者で、1年間の収入金額が2,000万円を超える方
 - ・給与所得者で、2か所以上から給与支払を受けている方
 - ・給与所得者で、年の途中で退職したり、就職先で年末調整を受けなかった方
 - ・年金所得者で、生命保険料控除や地震保険料控除など、各種控除の適用を受ける方
 - ・土地や建物などの資産を売却したことによる収入(譲渡所得)があった方
 - ・雑損控除、医療費控除、寄附金控除や住宅借入金等特別控除などの適用を受ける方
- 注** 青色申告、相続税、贈与税の申告をされる方は、最寄りの税務署で手続きをしてください。

○申告の際に持参するもの

対 象	必要書類	
全 員	①マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類 ②所得税還付申告の場合、申告者名義の振込口座の分かるもの ③過去に所得税申告をしている場合、税務署から送付される確定申告のお知らせに記載されている利用者識別番号の分かるもの	
所 得	給与・年金	源泉徴収票、受取金額の分かるもの
	事業・不動産	収入・経費の分かるもの、帳簿など
	雑・一時	支払調書、支払通知書、収入・経費の分かるもの
	配当	支払調書、支払通知書、特定口座年間取引報告書など
	譲渡	取得価格と売却価格の分かる資料および契約書など ※収用(国や町による買い取り)の場合は、収用証明書等一式
控 除	社会保険料	国民年金保険料控除証明書、領収書、納付額通知書など
	生命保険料	控除証明書
	地震保険料	控除証明書
	住宅ローン	借入機関から発行される年末残高等証明書 ※初めての手続きの場合は、上記証明書と土地や建物の購入金額が分かるもの
	障害者	障害者手帳、介護保険から申請により交付された障害者控除対象者認定書
	医療費	支払金額の分かる領収書、セルフメディケーション税制を受ける場合には対象金額の分かるもの
	寄附金 ふるさと納税	寄附した団体などからの受領書または証明書など

問 住民税務課 賦課係 ☎ 0240(23)7158

容・回数・費用などを確認してもらったことを目的としています。(請求書ではありません)

対令和7年中に介護サービス等を利用された被保険者

■記載事項

◎サービス提供年月

◎介護サービスを利用した月

◎サービス事業者

介護サービスを実際に提供した事業者名

◎サービス種類

利用した介護サービスの種類

◎サービス日数/回数

その月に利用した介護サービスの日数または回数

◎利用者負担額合計額

介護サービス費用のうち1割または2割または3割(利用者負担額免除の方は、0円が記載されます)

◎サービス費用合計額

利用者負担額と介護保険負担額の合計額

の合計額

問福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

所得申告相談会を開催します



町は、令和7年分の所得申告相談会を次のとおり開催します。

○今年度は次の取り扱いとなりますので、ご確認ください。

1. 混雑緩和のため、午前と午後に分けて受付時間を設けています。受付状況によっては待ち時間も含め時間を要することが予想されますので、余裕をもってお越しください。
2. 休日は大変混み合います。平日の午後は比較的待ち時間なく対応できますので、お急ぎでない方はなるべく平日午後にご来場ください。
3. 行政区ごとに受付日程を割り当てていますので、なるべくご自身があてはまる日にお越しください。
4. 本人確認のためマイナンバーカードまたは運転免許証などをご持参ください。

令和7年度 大熊町所得申告相談日程表

開催日	会場	受付行政区	時間
3月	会津若松市 スマートシティ A i C T 【交流棟ホール】	中屋敷・野上1～2・下野上1～3 熊川・野馬形・小入野・大和久	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)
		大野1～2・大川原1～2 熊1～3・町・夫沢1～3	
		中屋敷・野上1～2 下野上1～3・町・野馬形	
	郡山市 大熊町役場 中通り連絡事務所 【会議室1・2・3】	大野1～2・熊1～3	
		大川原1～2・熊川・小入野 大和久・夫沢1～3	
		小入野・大和久・町	
	大熊町② 大熊町役場本庁舎 【多目的ホール】	熊川・夫沢1～3	【午前の部】 午前9時～正午 (受け付け 午前8時30分～11時) 【午後の部】 午後1時～4時 (受け付け 午前11時～午後3時)
		全行政区	

※3月9日(月)～11日(水)は申告相談を受け付けていません。お間違のないようお気をつけください。

■申告が必要な方

- ・事業所得(営業・農業)、不動産、雑所得(公的年金以外)、一時所得などがある方
- ※国、県、町から支給を受けた補助金の額が50万円を超える場合、一時所得となる可能性があります。

農作物の栽培を検討されている方へ



現在、町内の避難指示解除区域は農作物の栽培が可能となっておりますが、国・県からは出荷・販売の有無に関係なく、作付品目の制限や放射性物質の吸収抑制対策などが求められています。

出荷・販売をはじめ、自家消費用であっても、栽培計画を確認する必要がありますので、農作物の作付けや家畜の飼育を検討されている方は、町へご連絡ください。

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

農業用水の使用を検討されている方へ



農業用水は、ため池や水路など施設の復旧工事を進めています。が、工事の進ちよくや水路の維持管理の関係上、全域に通水ができる状況とはなっていません。

営農再開を希望される農地への通水については、個別で対応しますので、水稻など農業用水を必要

とする作物の栽培を検討されている方は、お早めにご相談ください。

なお、上流からの復旧となるため至急の対応が難しい場合があります。ご理解をお願いいたします。

問 農業振興課 農林土木係

☎ 0240(23)7138

大熊町の営農再開支援制度をご利用ください



町は、営農再開に向けて町内で農業を行う農業者等を対象とした各種支援を行っています。補助を希望する場合は、事前に農業振興課 農政係に問い合わせください。

●大熊町生きがい農業等支援補助金

個人農業者が町内で農作物の生産(自家消費含む)に必要な農業機械購入、施設整備設置費用を補助します。(対象経費の4分の3、上限100万円)

※平成31年4月10日遡及あり

●大熊町農業法人施設整備等支援補助金

農業法人の設立促進と誘致を目的として、町内で10年以上継続して営農する意思がある事業者に対し、社屋・農業機械倉庫等を整備するための土地取得費用を補助します。(対象経費の2分の1、上限100万円)

●大熊町大型特殊免許等取得支援補助金

町内で農業を営んでいる農業者または町内の農業法人等へ就職した方が大型特殊免許等を取得するための教習費用を補助します。(教習費用の2分の1、上限大型特殊・5万円、けん引・8万円)

●原子力被災12市町村農業者支援事業自己負担支援補助金

福島県12市町村農業者支援事業経費の自己負担分を補助します。(対象経費の2分の1、上限125万円または375万円)

●大熊町鳥獣被害防止資材等購入費補助金

鳥獣による農林地等への被害を防止するため、農林地等に設置した資材(電気柵、ネット柵、金網柵、ワイヤーメッシュ柵、その他付随する器具等)の購入費用を補助します。(対象経費の2分の1、上

限6万円)

問 農業振興課 農政係

☎ 0240(23)7137

精神障害者保健福祉手帳および自立支援医療(精神通院)の更新通知を廃止します



町は、独自に行っていた精神障害者保健福祉手帳および自立支援医療(精神通院)の更新通知を、令和8年度から廃止します。

こちらは事務負担軽減と支援業務の充実を目的とした見直しです。自立支援医療は有効期限1年、精神障害者保健福祉手帳は2年で、いずれも3か月前から更新手続きが可能です。

今後は、町ホームページや窓口案内で、更新時期や手続きを分かりやすくお知らせしますので、ご理解とご協力よろしくお願ひします。

対精神障害者保健福祉手帳所有者自立支援医療(精神通院)利用者

■注意点・留意点等

個別の更新通知は届かなくなり

ます。

有効期限の確認はご自身で行う
必要があります。

問 福祉課 福祉係

☎ 0240(23)7196

生活循環バスの 運用について

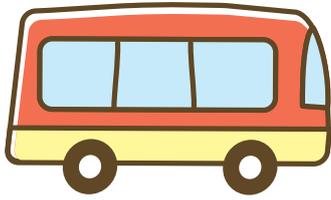


おおくま学園祭2026開催に
伴い、生活循環バスの運行を次の
とおり変更します。ご利用の際は
ご注意ください。

時 3月14日(土)終日

■変更点

大川原公営住宅から大野駅西口
までの便については終日、「五差
路」、「インキュベーションセンタ
ー」、「保健センター」のバス停は
停車しません。



東日本大震災追悼式



町は、3月11日、大熊町役場前広場で、3.11
のつどい有志の会が主催する追悼式に共催します。

この追悼式は、東日本大震災で亡くなられた方々
をしのび、復興への思いを新たにします。

当日は、献花台を設置しますので、どなたでもご
自由にご献花ください。

時 3月11日(水) 午後2時～

場 大熊町役場前広場

対 どなたでも

問 福祉課 福祉係 ☎ 0240(23)7196



基盤整備工事に伴う3月以降の通行止め箇所について



下野上地区一団地の復興再
生拠点市街地形成施設事業の
基盤整備工事および道路等工
事のため通行止めを行って
います。通行の際は、現地の案
内看板等のご確認をお願いし
ます。

問 UR都市機構 東北震災復
興支援本部 大熊復興支援事
務所

☎ 0246(38)8127

問 復興事業課 建設係

☎ 0240(23)7019

■3月以降の通行止め箇所図



【凡例】
■：通行止め

し尿くみ取りと浄化槽清掃の費用が変更になります



し尿くみ取りと浄化槽清掃の料金は、平成12年度から現行の料金となっておりますが、処理コストの増加に伴い、4月1日から次の通り変更になります。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■し尿汲み取り料金

2250円/180ℓ(税込)

※以降、18ℓごとに225円を加算

■浄化槽清掃料金(新)

◎単独浄化槽 18590円

◎合併浄化槽 12500円

※浄化槽規模は全種共通です。

問 広野町・檜葉町・川内村地区

公場環境事業有限公司 檜葉事業所

☎0240(25)5135

問 富岡町・大熊町・双葉町地区

株式会社 協和エムサー

☎024(963)0346

問 浪江町・葛尾村地区

有限会社 阿部衛生社

☎0240(34)2650

4月からごみの指定袋が変わります



これまで資源物の指定袋は、「ビン類」「カン類」「ペットボトル類」「プラスチック製容器包装」の4種類に分かれていましたが、4月から、これら4種類の資源物に対応した新しい「資源ごみ用」の袋が販売開始されます。

また、「燃えるごみ用」「燃えないごみ用」の袋のデザインも変わります。

「資源ごみ用」の袋は、どの資源物を出すときにも使うことができますが、入れることができる資源物は1種類だけです。袋の表面にある内容物の欄にチェックマークを記し、その資源物の決められた収集日にごみステーションに出してください。

袋は大小2種類で、必要に応じて使い分けてください。

なお、4月以降、ご家庭や販売店に今までの指定袋が残っていても、引き続き使うことができます。

「燃えるごみ用」「燃えないごみ用」の価格は変更なく、「資源ご

み用」は今までの4種類同様、250円です。新たにできる「資源ごみ用」の小は150円となり、いずれも10枚入りです。

問 双葉広域市町村圏組合

☎0240(22)3333

相続登記は忘れずに

●令和6年4月1日から相続登記が義務化されました。

不動産を相続したら、相続発生日から3年以内に登記申請をしてください。

●住所等変更登記が義務化されます。

4月1日から、不動産を所有している個人は、住所または氏名に変更があった日から2年以内に登記申請をしてください。

※法人の本店・商号等に変更が生じた場合も同じです。



相続登記



住所等変更登記

問 福島地方事務局

☎024(534)1111

富岡町移動図書館が巡回します



時 3月25日(水)

午前10時40分～11時10分

場 ほとと大熊東側駐車場

■利用カード登録ができる方

◎双葉郡内に住民票がある方、通勤・通学している方。

◎住所・氏名を確認できる書類(健康保険証、運転免許証など)をお持ちください。

問 生涯学習課 社会教育係

☎0240(23)7194

問 富岡町図書館

☎0240(21)3665

移住定住をサポート！
おおくまチャレンジ
応援プログラム受け付け中！

町移住定住支援
センターの
最新情報はこちら▶



●くまジョブ(求人情報サイト)

問 大熊町移住定住支援センター
☎0240(23)7103

健康



ノルディック ウォーキング



時 3月18日(水)

午前10時～11時30分

場 linkる大熊

対町内にお住まいの方

費無料

持動きやすい服装、飲み物

定20人

申 3月17日(火)までに電話で

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

いきいき百彩クラブ



内心と体の健康講話

時 3月9日(月)午前10時～11時

場 大熊町保健センター

対 大熊町民の方

定 25人

申 2月27日(金)まで

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

保健センター 開放日



春休み企画を予定しています。

お茶コーナーやおもちゃや絵本、

健康に関する情報を設置していま

す。健康相談・介護や認知症・栄

養相談もできます。赤ちゃんから

高齢者の方が集う場として、お気

軽にお立ち寄りください。

※保健センター前で生活循環バス

も停車します。

時 3月26日(木)

午前9時～午後4時

場 大熊町保健センター

対 大熊町民の方、町内在住・在勤

の方

持 飲み物

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419



文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター (ADR センター) からのお知らせ

ADRセンターは
今年も大熊町と連携して
町の所得申告相談会場に
出張窓口を設置します。



弁護士等の専門家とその場で話をして申立書を作成することができます。

- ①時 3月4日(水)・5日(木)
午前8時30分～午後2時30分
場 大熊町役場 中通り連絡事務所
- ②時 3月12日(木)・13日(金)
午前8時30分～午後2時30分
場 大熊町役場

所得申告の相談をされない方でも利用できます
予約不要・ご利用は無料

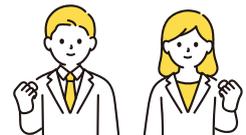
問 原子力損害賠償紛争解決センター

☎ 0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

不動産利活用、地域コミュニティをサポート!

特産品「帰忘郷」販売中!

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶



- 不動産利活用登録募集
- okuma store
- 新デザインのマグカップ販売中です!

● 大熊町復興支援員活動報告会 ●

時 3月19日(木) 午後1時～5時(予定) 場 CREVA おおくま CREVA ホール
詳細はおおくままちづくり公社ホームページをご確認ください。

問 おおくままちづくり公社 ☎ 0240(23)7101 (平日午前9時～午後5時)

3月1日から3月7日まで 春季全国火災予防運動週間です!

空気の乾燥する日が多く、火災が起こりやすい時期が続きますので、火災を起こさないように一人一人の心がけが大切です。

ちょっとした不注意で火災が発生しています。皆さんの大切な生命や財産を火災から守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう!



防火対策を実施していますか?

～住宅用防災機器を設置し、

あなたの命と大切な家族を守りましょう～

- ◇逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**の設置と定期的な点検をしましょう。
- ◇火災に備えて、**住宅用消火器**を準備しましょう。
- ◇火災を拡大させないために、**防災品**を使用しましょう。
- ◇火災を出さないために、**安全装置付き**電気機器・暖房器具などを使用しましょう。



感震ブレーカーを設置して 火災を予防しましょう!

通電火災を防ぐために

大規模地震発生後、電気復旧した際に転倒・破損した家電製品に電気が流れることで通電火災が発生する可能性があります。震度5以上の地震を検知し自動的にブレーカーを落とす「**感震ブレーカー**」を設置することは、電気が原因となる火災事故を防ぐために有効です。

福島地方環境事務所からのお知らせ

特定帰還居住区域における被災家屋等の解体申請の受付窓口が変わります

環境省は、大熊町の特定帰還居住区域(下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部)およびその周辺において、東日本大震災および長期避難に伴い荒廃した被災家屋等の解体申請を受け付けています。

4月1日(水)から受付窓口の場所や連絡先が次のように変わります。

受付時間は月曜～金曜日(土日祝日、年末年始を除く)の午前8時30分～午後5時15分です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



【常設窓口】

来所される際は事前にお電話いただき、日時の予約をお願いします。

■浜通り南窓口

いわき市平字小太郎町 1-6 いわきセンタービル 6階
☎ 0120-700-908

■浜通り北窓口

浪江町大字権現堂字上続町 12 朝田ビル 1階
☎ 0120-603-016

■ご希望に応じて申請者のご自宅等に伺います。

☎ 0120-700-908 (浜通り南窓口) までご連絡ください。

中間貯蔵施設の見学会を開催しています

中間貯蔵事業情報センターは、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。参加を希望される方は、お申し込みください。

時 3月13日(金)・14日(土)

※ 3月17日(火)～3月23日(月)までの期間は、輸送を休止します。

■申し込み窓口

中間貯蔵事業情報センター
☎ 0240-25-8377

問 福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課

☎ 024-563-1293



柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

2011年3月11日に発生した東日本大震災と原子力災害から、今月で15年を迎えます。大熊町は震災後8年の長い避難生活を経て町に役場機能が戻り、復興の歩みが続けられてきました。そして2020年7月、長崎大学は町と包括連携協定を締結して役場内に復興推進拠点を設置し、町の復興を支援する取り組みを進めてきました。そこで今回はこの節目のタイミングで、長崎大学・大熊町復興推進拠点について、改めてご紹介したいと思います。

●復興推進拠点の主な取り組み

長崎大学は、原爆被爆地に所在する大学として、放射線影響の研究や被ばく医療、歴史の継承等に取り組んできました。そうした知見を活かし、復興推進拠点では、事故で放射線の影響を評価し、理解を醸成することを主な目的としています。また、大学が設置する拠点として次のような役割を担っています。



01
復興
支援

住民・行政・専門家が協働した復興の推進

大熊町役場 健康保険課に教職員が常駐しています。放射線健康相談窓口のほか、保健師等と連携して、心身の健康保持・増進の支援を行っています。最近さまざまな学部の学生が参加し、活動の幅が広がっています。



02
調査・
研究

町の復興に資する調査・研究

放射線の測定、放射線の影響に関する評価、福島第一原発の廃炉に向けた課題や住民の心身の健康を支援する調査研究を実施しています。



03
人材
育成

災害・被ばく医療、復興科学の教育研修

実習やフィールドワークを通じた学生の学びの場を提供しています。複数の大学の学生と一緒に学ぶセミナーを開催したり、国際機関や海外の大学、研究機関から専門家を招いた研修も開催しています。

日頃から教職員が役場に常駐していることで、町民の方、役場の職員をはじめとした関係各所の方々と顔の見える関係が少しずつ構築されてきたと感じます。大熊町で築いてきた信頼関係を大切にしながら、学びと実践を通じた復興支援を続けていきたいと思っています。



長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課 (☎ 0240-23-7419) を通じてお気軽にお問い合わせください。

教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶



知っておきたい認知症の基本！
高齢になるほど発症リスクが高まりますが、40代～50代で発症する「若年性認知症」もあります。

介護の悩み、ひとりで抱えていませんか？ 地域包括支援センターに相談してみよう！

最近、物忘れが気になる…

介護の申請ってどうやるの？

高齢で1人暮らし、
今後の生活に不安がある



介護保険ってどう使うの？

親の介護が必要になりそうだけど、
どうすればいい？

仕事と介護の両立が難しい

● そんなとき、頼れるのが **地域包括支援センター** です！ ●

地域包括支援センターでは、介護や福祉、健康、暮らしのことなど、さまざまな悩みに専門員が対応します。電話でも相談が可能です。もちろん、相談は無料で、秘密は守られます。「こんなこと聞いてもいいのかな？」と思うようなことでも大丈夫。まずはお気軽にご連絡ください。

相談先：大熊町地域包括支援センター

場 大熊町大字大川原字南平 1717 (大熊町役場 福祉課 包括支援係)

☎ 0240-23-7238

※専門員が不在の場合がありますので、窓口での相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。

避難先での相談は、最寄りの **地域包括支援センター** へ！

生活されている地域を管轄する地域包括支援センターへも相談ができます。その地域を良く知る専門員がいますので、必要に応じて相談ください。なお、連絡先等は各市町村のホームページや広報等でご確認ください。

若者・“SOS” 子どもの見逃さない

子どものSOSサイン(例)



3月は自殺対策強化月間です。日本の自殺死亡率の推移を見ると、若者・子ども(10～19歳)の自殺死亡率は近年緩やかな上昇傾向が続いています。(厚生労働省 令和6年度自殺対策白書より)

子どもは悩みを一人で抱え込んでしまいがちです。子どものSOSサインに気づいたら「最近どう?」など声をかけましょう。もし子どもから悩みを打ち明けられたら、しっかり耳を傾け、頭ごなしに叱らず、その子が抱えている問題を受け止めます。対応が難しければ、役場や保健所・相談関係機関等の社会的な資源につなげてください。

相談窓口	内容	受付時間
チャイルドライン ☎0120-99-7777	18歳までの子ども専門電話。学校や家庭でのどんな相談でも可能	毎日 午後4時～9時
こころの電話 (福島県精神保健福祉センター) ☎024-535-5560	精神的な悩みや心の健康に関すること	平日 午前9時～ 午後4時
大熊町子ども家庭センター ☎0240-23-7197	家庭での悩みや困りごと、虐待などについて	平日 午前8時30分～ 午後5時15分

小中高生の自殺者の推移

(厚生労働省 令和6年度自殺対策白書より抜粋)



福島県
 主な児童相談関係機関



母子健康手帳交付希望の皆さまへ ご妊娠おめでとうございます

大熊町子ども家庭センター **おおくまっこ** は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。

母子手帳の交付を受けた福島県外の妊婦さんへ

今後町から送付するものがありますので、健康保険課 保健衛生係までご連絡ください。

また、福島県内への里帰り出産をされる方についてもご連絡ください。



子育て支援アプリ
 「すくすく♡おおくまっこ
 by 母子モ」



おおくま



Photo News



まあちゃんが
110番の適正活用
を呼びかけます



1月9日、福島県警本部で緊急通報用電話（110番）の適切な活用を推進する「110番の日」の広報活動イベントが開かれ、まあちゃんが110番広報活動推進員として委嘱されました。福島県では年間で5万件ほどのいたずら電話や無言電話があり、110番の適切な運用を呼びかけています。

各種問い合わせ先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局
☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所
☎23-7170
ふたば医療センター附属病院
☎23-5090
町社会福祉協議会
☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森
☎23-4462
義務教育学校 学び舎ゆめの森
☎23-5341

商工・観光・交流

町観光協会
☎23-7101
町インキュベーションセンター
☎23-7721
町商工会
☎23-7380
交流施設 linkる大熊
☎23-7676
宿泊温浴施設ほっと大熊
☎23-5767
CREVAおおくま
☎41-9959
クマSUNテラス
☎41-9948

移住定住・帰還支援

町移住定住支援センター
☎23-7103
おおくままちづくり公社
☎23-7101

郵便

大熊郵便局
☎32-2222

警察・消防

双葉警察署
☎22-2121 (緊急通報 110)
富岡消防署
☎22-2119 (緊急通報 119)
災害情報専用テレホンサービス
☎26-0366

電気

東北電力コールセンター
☎0120-066-774

ガス

福島県LPガス協会 相双支部
☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団
☎25-5323
(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル
☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合
南部衛生センター
☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口
☎0120-027-582
一時立ち入りコールセンター
☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住所
大谷 柊 ^{ひなぎ} 凪	一仁・咲良	新町
志賀 奏 ^{かなで} ・律 ^{りつか} 花	直貴・礼奈	大
加井 琉 ^{りゅう} 乃	流行・瑠依	中央台
末 永 ^{みなと} 湊 ^{みなと} 士	貴仁・美絵	清水



ご結婚おめでとう

花むこ	住所	花よめ	住所
雨宮 広登	西大和久	渡部 優羽	西大和久
馬上 雅也	いわき市	半谷 厚美	古館



おくやみ申し上げます

死亡者名	年齢	住所
末 永 正 明	82歳	南 平
木 村 保 充	88歳	熊 町
尾 内 芳 正	84歳	新 町
井戸川 浩 夫	85歳	南 平
志 賀 恒 子	92歳	大
古 川 久 男	72歳	東 平
瀧 内 満 枝	93歳	大 野

令和8年1月届出

広報はホームページでもご覧いただけます。

広報をおくまは町ホームページでも公開しています。パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご利用ください。

大熊町 HP

Facebook

Instagram

LINE



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

編集後記

東日本大震災と福島第一原発事故から、まもなく15年を迎えます。本号の特集では、この15年間で町がどのように変化してきたのかを、あらためて振り返りました。

誌面ではすべてを紹介しきれませんでした。この15年の町の歩みの一つ一つには、多くの方々からのご支援とご協力がありました。皆さまの支えがあつてこそ「今」があるのだと、あらためて実感しています。(梅田)

人のうごき

令和8年1月末現在



住民基本台帳

人口 9,780人

世帯数 4,160世帯

町内居住者数

人口 1,533人

(うち帰還者338人)

居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。



町内の空間線量

(令和8年2月13日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名	空間放射線量 (μ Sv/h)	
中屋敷集会施設	0.10	
大熊町役場	0.08	
福島給食センター	0.13	
やすらぎ霊園	0.08	
野上二区地区集会所	0.51 ^{*1}	
大熊インキュベーションセンター (旧大野小学校)	0.13	
大熊町保健センター	0.28	
大野駅	0.13	
大熊町文化センター	0.30	
旭台公園	0.33	
学び舎ゆめの森	0.12	
大和久区地区集会所	0.35 ^{*1}	
町区集落センター	0.46	
参 考	いわき市役所	0.06
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中等のため直近の計測データを記載しています

※1 令和7年6月10日午後3時時点



おおくまカレンダー

今月の紙面情報をまとめました。
丸数字 (①など) は、
詳しい内容を掲載したページ番号です。

町内のゴミ回収日



可燃・紙



不燃・カン



ビン



ペット・プラ



▲分別方法は
コチラから

南部衛生センターごみ受入日 午前8:30~11:30

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ◎お子さんにぬいぐるみプレゼント申込開始① ◎所得申告相談会(会津)⑮	3 ◎所得申告相談会(会津)⑮	4 ◎ADRセンター出張窓口(郡山)⑲ ◎所得申告相談会(郡山)⑮	5 ◎ADRセンター出張窓口(郡山)⑲ ◎所得申告相談会(郡山)⑮	6 ◎所得申告相談会(郡山)⑮	7
8	9 ♣いきいき百彩クラブ★⑲	10	11 ◎追悼復興祈念イベント⑩ ◎東日本大震災追悼式⑰	12 ◎ADRセンター出張窓口(大熊)⑲ ◎所得申告相談会(大熊)⑮	13 ◎ADRセンター出張窓口(大熊)⑲ ◎所得申告相談会(大熊)⑮	14 ♪おおくま学園祭2026
15 ■おおくま気楽会★⑬	16 ◎大熊町職員採用候補者試験受付開始⑩ ◎所得申告相談会(大熊)⑮	17	18 ■おおくま町中通り会★⑫ ♣ノルディックウォーキング★⑲	19 ■コミュニティサロン⑪ ◎大熊町復興支援員活動報告会⑲	20 春分の日 ■おおがわら会★⑫	21
22	23	24	25	26 ■おおくまいわき友の会★⑫ ♣保健センター開放日⑲	27 ◎令和8年度サークル補助金・生涯学習事業費補助金説明会★⑪	28 ■ふるさとおおくま会★⑫ ■大野南コミュニティ★⑬
29 ■大熊町山田会★⑫	30	31	<div data-bbox="1161 1579 1511 1814" data-label="Text"> <p>【実施団体】 ♪ 主なイベント ◎ その他 ■ 各コミュニティ団体 ♣ 保健センター・介護事業 ● 出張所・連絡事務所 ● おおくまコミュニティづくり実行委員会 (★マークがついているイベントなどは予約が必要です)</p> </div>			

各施設等の
イベント情報は
こちらから
ご覧ください!

駅西交流エリア	大川原交流ゾーン	OIC	まちづくり公社	社会福祉協議会